

第1回 序文 (1:1-8)

1. 預言書的前書き (1:1-3)

(1) タイトル：イエス・キリストの黙示 (1:1a)

(2) 啓示の内容：すぐに起こるべきこと (1:1b)

神のことばとキリストの証し=ヨハネが見たすべてのこと (1:2a)

(3) 啓示伝達の順序 (1:1)

神→キリスト→御使い→ヨハネ→神のしもべたち

(4) 幸いの宣言 (1:3)

A. 幸いである人々：宛先の人々

a. 預言のことばを朗読する者

b. それを聞いて、そこに書かれていることを守る者たち

B. 幸いである理由：時が近づいているから

2. 手紙的あいさつ (1:4-6)

(1) 著者：ヨハネ (1:4a)

(2) 宛先：アジアにある七つの教会 (1:4b)

(3) 宛先への祝福の祈り (原文 1:4c-5d)

A. 祈り：恵みと平安があなたがたにあるように (1:4c)

B. 祝福の源 (1:4d-5d)

a. 父なる神：今おられ、昔おられ、やがて来られる方 (1:4d)

b. 聖霊：その御座の前におられる七つの御霊 (1:4e) (→イザヤ 11:2)

c. イエス・キリスト (1:5a) (→詩篇 89 篇)

・ 確かな証人 (1:5b)

・ 死者の中から最初に生まれた方 (1:5c)

・ 地の王たちの支配者 (1:5d)

(4) イエスへの賛美 (1:5e-6)

A. イエスはどのようなお方か (1:5e-6a)

a. 私たちを愛しておられる方 (1:5e)

b. その血によって私たちに罪から解き放って下さった方 (1:5f)

c. ご自分の父である神のために、

・ 私たちを王国とし、

・ 祭司としてくださった方 (1:6a)

B. そのようなイエスに、栄光と力が世々限りなくあるように。アーメン (1:6b)

3. この本の主題 (1:7-8)

(1) 預言のことば1：イエスの再臨 (1:7) (→下記 1:7 の参考聖句)

- A. メシアは雲とともに来られる (→ダニエル 7:13)
- B. すべての目がメシアを見る (→ゼカリヤ 12:10)
- C. 地のすべての部族は悲しむ (→ゼカリヤ 12:10, 14)

(2) 預言のことば2：神の主権の宣言 (1:8)

- A. わたしはアルファであり、オメガである
- B. 神である主
- C. 今おられ、昔おられ、やがて来られる方 (→1:4d)
- D. 全能者

1:7 の参考聖句

- ・ ダニエル書 7:13

私がまた、夜の幻を見ていると、
見よ、人の子のような方が
天の雲とともに来られた。
その方は『年を経た方』のもとに進み、
その前に導かれた。

- ・ ゼカリヤ書 12:10

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。

- ・ ゼカリヤ書 12:14

残りのすべての氏族は、あの氏族もこの氏族もひとり嘆き、その妻たちもひとり嘆く。

- ・ マタイの福音書 24:30

そのとき、人の子のしるしが天に現れます。そのとき、地のすべての部族は胸をたたいて悲しみ、人の子が天の雲のうちに、偉大な力と栄光とともに来るのを見るのです。